

- 3) 内容 示範授業 時間 午後12時50分から午後1時35分
 対象 2年5・6組(29名)
 内容 日本とのつながりから考える世界史(世界史B)
 場所 2年6組教室
 研究協議 時間 午後1時45分から午後2時30分まで
 場所 小会議室

<検証>

生徒の実践能力を伸ばすための具体的な手法について教員が学んだ。「課題探究基礎」の成果研究発表会直前には、生徒の発表指導に応用できた。

(3) 『海外研修』

<仮説>

「情報発信力」は、「海外研修」において母国語以外での情報発信の機会を与えることで多様な言語スキルが身につく。

<研究内容・方法>

①目的

オーストラリア、アデレードへの海外研修を通じて、国際的視野で科学的事象を探究する力、国際語である英語を用いてコミュニケーションをする能力の向上を図る。今年度は、次年度の海外研修実施に当たり事前調査を行う。

②対象学年・コース

第1学年希望者

③内容

オーストラリア、アデレード海外研修

④実施方法

平成31年3月中旬予定(6泊7日)

⑤内容の詳細

アデレード大学、研究機関、アデレード市内の高校において、「自然科学」分野等における研修を行う。事前研修を4回程度行うとともに、校内での事後報告を行う。

<予定訪問先>

- (1) The Australian Science and Mathematics School (理数教育に特化した高等学校)
- (2) Flinders University (大学)
- (3) Botanic Gardens of South Australia (植物園、研究施設)
- (4) Cleland Wildlife Park (野生動物公園、研究施設)
- (5) South Australian Museum (博物館)
- (6) South Australian Health and Medical Research Institute (医学研究所)
- (7) Watiparinga Reserve、St Kilda Adventure Playground 周辺など(調査地)



<事前研修(案)>

	科学	英語
2月	中海に関するレポートをまとめる→提出	自学 NHKラジオ+TED 記録シート→提出
3月	・水質検査の手法の修得	・Listening スピードに慣れる
4月	・土壌検査の手法の修得 実験・実習	・簡単な会話になれる 自学 NHKラジオ+TED
5月	・全窒素、全リン、COD、DO、透明度などの計測手法の修得 フィールドワーク ・採水などサンプル採取法の修得 勉強会 ・随時、文献検索・研究者訪問	勉強会 月1程度(自己紹介+a) <題材> 自分、日常、鳥取・アデレード

6月	実験・フィールドワーク ・検査地点の選定, 継続計測 勉強会	・聞いたものをもとに意見交換・質問する 自学 NHKラジオ+TED 勉強会 月 1程度 (TED ベースの Output)
7月 派遣生決定?	・研究目的, 仮説の設定 ・随時, 文献検索・研究者訪問	<題材> 少しアカデミックな内容 *可能ならば Skype 交流①
9月	データ整理	自学 NHKラジオ+TED
10月	・グラフ化, 仮説検証, 調査地点の再検討	勉強会 月1程度
11月	・必要において追加調査 発表準備 ・パワポ作成, 要旨作成	<題材> 自分の研究について *可能ならば Skype 交流②
12月	発表準備	自学 NHKラジオ+TED
1月	・パワポ修正, シナリオ作成, リハーサル	勉強会 月2~程度
2月	・想定質問設定, 質問対応設定, リハーサル	

<検証>

1月に生徒募集をし、面接の結果、9名の参加が決定した。9名はこの後、自然科学部に入部し、1年間、科学と英語に関する研修を受ける予定である。各自の英語力にはばらつきがあるものの、意欲は大変高く、他の生徒へ好影響が十分に期待される。

C. 実践力の育成

地域社会への参画, 社会貢献への能動的態度を育成する。

(1) 『自然科学部養成』

<仮説>

「実践力」は、自然科学部員を対象に『自然科学部養成』を行い、地域社会への参画, 社会貢献の体験を実際に行うことで育成できる。また、将来的に参加生徒が他の生徒のロールモデルとなり他の生徒へ効果の波及が期待できる。

<研究内容・方法>

①目的

自らの希望により入部した自然科学部の部員に対し、多様な科学的体験の機会を提供することにより、より高度な21世紀型能力を身に付けさせるとともに、他の生徒のロールモデルとなる生徒を育成する。

②対象学年・コース

全学年・全コース希望者

③内容

自然科学部の部員に対し、以下の内容を扱う。

<より高度な科学的探究心の涵養>

- 1) 継続的かつ高度な探究的活動の実施
- 2) 長期休業中における生態調査等の合宿
- 3) 大学との連携(研究室訪問)
- 4) 企業との連携(企業訪問)

<より高度な発信力の育成>

- 1) 外部発表会への参加
- 2) 校内向けポスター発表の実施

<より高度な実践力の育成>

- 1) 「科学を創造する人財育成事業」の企画・運営
- 2) 科学教室の企画・運営

④実施方法

<より高度な科学的探究心の涵養>

- 1) 継続的かつ高度な探究的活動の実施

物理班, 化学班, 生物班, 地学班それぞれの指導教員のもと現在行っている探究的活動をさらに発展的に行う。

【H27, 28 実施例】

生物班「学校所有林勝田山の毎木調査による生態調査」

生物班「発光バクテリアの発光条件の比較検討」

- 2) 長期休業中における生態調査等の合宿

現地調査や長時間調査が必要な探究的活動において合宿形式で実施する。

3) 大学との連携(研究室訪問)

高度な探究的活動の場合、近隣大学である鳥取大学医学部生命科学科の協力を求め、実施する。

4) 企業との連携(企業訪問)

長期休業中や学校休業日を利用し、島津製作所など企業の協力の下連携を実施する。

<より高度な発信力の育成>

1) 外部発表会への参加

鳥取県高校生理数課題研究等発表会及び各種学会に参加する。

2) 校内向けポスター発表・口頭発表の実施

校内に発表用ポスターを掲示するとともに、学校祭、科学を創造する人財育成事業などの行事においてポスター発表、口頭発表を行う。

<より高度な実践力の育成>

1) 「科学を創造する人財育成事業」の企画・運営

本事業において、全体企画・運営に参画する。

2) 科学教室の企画・運営

地域の小中学生を対象とした実験教室を企画・運営する。

⑤内容の詳細

1) 継続的かつ高度な探究的活動の実施

生物班を中心に発光バクテリアのクオラムセンシング機構発現物質の探索を継続的に行っている。

2) 長期休業中における生態調査等の合宿

9月及び10月中に琵琶湖への生態調査合宿を予定していたが、台風のため中止になった。

H30.2.10(土)～12(月) 自然科学部冬期合宿 大山自然歴史館及び大山周辺にて、観察指導委員さんのもと、トレッキング調査、生体調査、毎木調査を行う予定。参加者7名

3) 大学との連携(研究室訪問)

H29.8.2(水) 鳥取大学「細胞から染色体までのミクロの世界をのぞいてみよう ひらめき☆ときめきサイエンス」へ部として参加。参加者7名

H30.3.18(日)～20(火) 未来科学館訪問, 明治大学農学部 小山内 崇 専任講師「バイオマテリアル・バイオエネルギーの生産」, 国立科学館訪問予定。参加者9名

H29年度「岡山大学グローバルサイエンスキャンパス」参加者2名(H30.3にはフランス研修に参加)

4) 企業との連携(企業訪問)

H29.8.8(火)「先端技術・最新知見に学ぶ」京都IPS研究所訪問 参加者30名

<より高度な発信力の育成>

1) 外部発表会への参加

H29.8.8(火) 8.9(水) 8.10(木)「平成29年度SSH生徒研究発表会」

「イカに光るかバクテリア ～発光バクテリアの発光と菌密度の関係～」

How do bacteria light? `Luminous bacteria`'s emission of light and bacteria`'s density

発表者:自然科学部員5名

H29.11.11(土)「2017年日本化学会中国四国支部大会」

「イカに光るかバクテリア ～発光バクテリアの発光と菌密度の関係～」

発表者:自然科学部員6名

2) 校内向けポスター発表・口頭発表の実施

校内用ポスター設置

学校祭における部活発表にて、ポスター発表とともに「光る生き物展」を開催。



<より高度な実践力の育成>

1) 「科学を創造する人財育成事業」の企画・運営

生物分野「DNA型鑑定」において7名が補助員として参加

2) 科学教室の企画・運営

H29. 10.22(日)「わかとり科学 虎の穴2017」(中学生向き実験教室)

参加者17名に対して補助員として7名が参加

H29. 11.5(日)「米子こどもの科学教室」(小学生向き実験教室)

参加者約800名に対して補助員として8名が参加

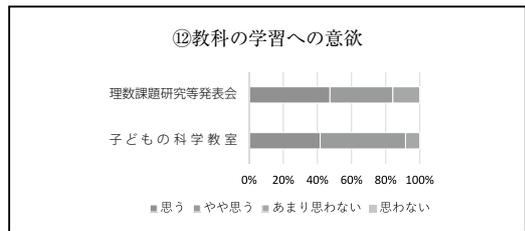
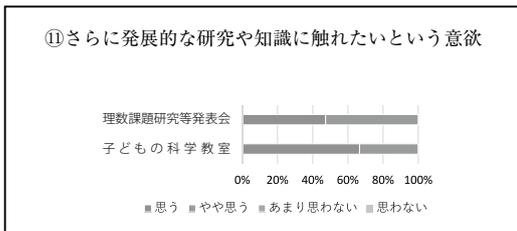
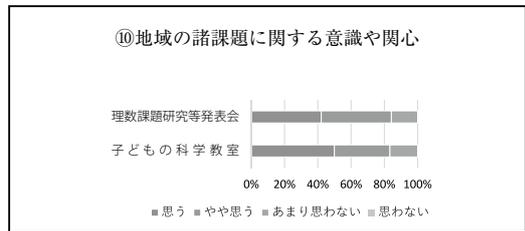
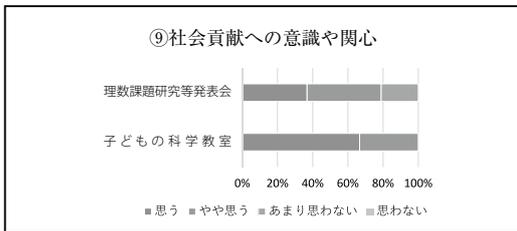
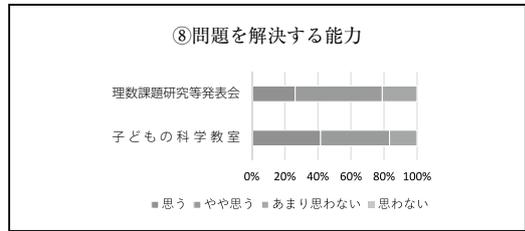
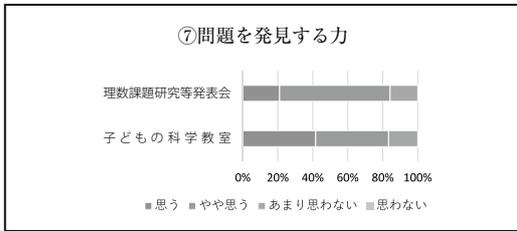
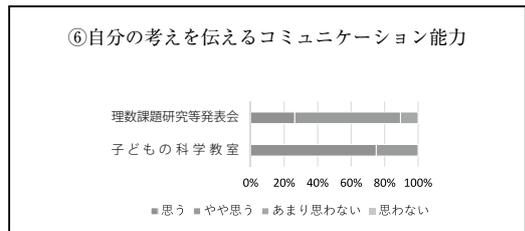
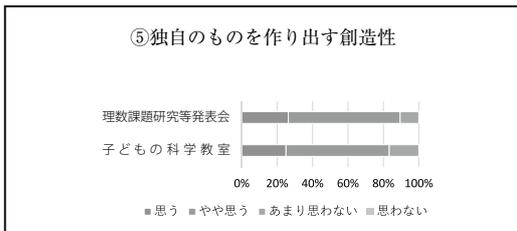
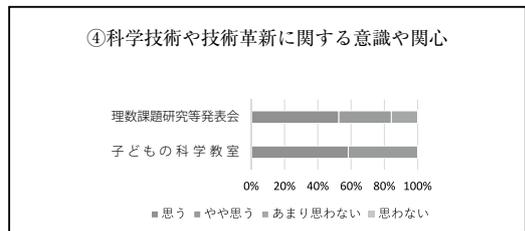
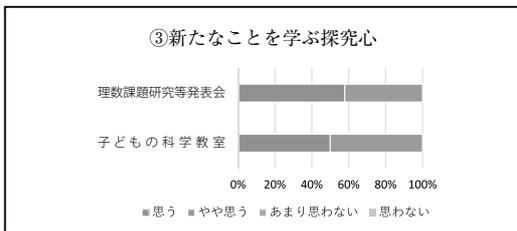
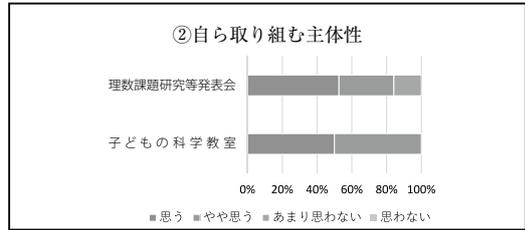
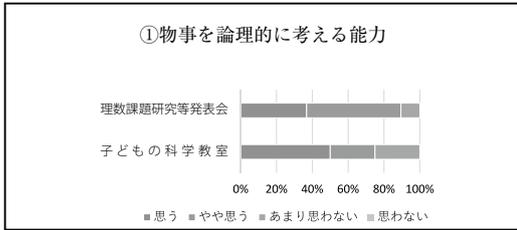


<検証>

以上のように、自然科学部部員に多様な科学的体験の機会を提供することにより、実践力の育成が図られている。とりわけSSH生徒研究発表会に参加することで、ポスター発表・口頭発表の能力を向上させ

ることができ、参加した生徒の中には、学校で課題探究を実施する際にリーダー的な役割を果たす生徒もいる。また、事業の企画運営に参加する経験を通して、実験教室の助手として先を見通した行動ができるなど、他の生徒のロールモデルとなっていることも確認された。
参加した生徒を対象に実施したアンケート結果を以下に示す。

・質問内容
この事業を通じて、以下の質問①～⑫に挙げる力が高まったと思いますか？



(2) 『Science Challenge』

<仮説>

「実践力」は、希望者を対象に、「Science Challenge」を行い、地域社会への参画、社会貢献の体験を実際に行うことで育成できる。また、将来的に参加生徒が他の生徒のロールモデルとなり他の生徒へ効果の波及が期待できる。

<研究内容・方法>

①目的

科学に対して高い意欲・関心を持ち、教育課程を超えた学習・体験を希望する生徒に対して、多様な科学的体験の機会を提供することにより、高度な科学的探究心・表現・発信力を身に付けさせる。

・各種科学コンテスト・科学オリンピックへの参加支援

各種科学コンテスト・科学オリンピックに参加し、同じ高い意欲・関心をもつ他校生徒と切磋琢磨することを希望する生徒を支援し、向上心の涵養を図る。また、本校が各種科学オリンピックの特例会場として認定されることを目指し、より多くの生徒に自己研鑽の場を提供する。

・外部発表会への参加支援

高校生フォーラムなど課題探究活動以外の研究発表会への参加を希望する生徒を支援し、成果の発表及び他校の生徒や研究者や専門家との交流を通して、向上心及びプレゼンテーション能力の向上を図る。

②対象学年・コース

全学年・全コース希望者

③内容

1) 各種科学コンテストへの参加支援 (希望者)

・コンテスト情報の提供

2) 科学オリンピックへの参加支援 (希望者)

・科学オリンピック開催情報の提供
・物理チャレンジの校内実施 (実施会場指定)
・生物学オリンピックの校内実施 (実施会場指定)

3) 外部発表会への参加 (希望者)

・外部発表会情報の提供



④実施方法

実施時期：随時

⑤内容の詳細

1) 各種科学コンテストへの参加支援 (希望者)

H29.11.4 (土)「科学の甲子園 (予選)」県予選 参加者 24 名
結果 2 - 8 (2位), 1 - 8 (3位), 2年理系 (6位)

H29.7.28 (金), 29 (土), 30 (日)「高校生フォーラム」参加者 4 名

2) 科学オリンピックへの参加支援 (希望者)

H29.7.9 (日) 物理チャレンジの校内実施 (実施会場指定) 参加者 11 名

H29.7.16 (日) 生物学オリンピックの校内実施 (実施会場指定) 参加者 36 名

3) 外部発表会への参加 (希望者)

<検証>

参加生徒は自分で課題解決に向けたアプローチを考え出しており実践力の育成につながっている。校内実施の物理チャレンジおよび生物学オリンピックに参加した生徒は、放課後に自主的に勉強会に参加しており、生徒同士で連れ立って参加するなど、他の生徒のロールモデルとなっていることが分かる。

④ 関係資料

(資料1) 平成29年度教育課程表

●SSH校設定科目
+学校設定科目

鳥取県立米子東高等学校 平成29年度入学者教育課程

教科	科目	学年 標準 単位	1 年		2 年			3 年			
			普通	生命	文系	理系	生命	文系	理系	生命	
国語	国語総合	4*	5	5							
	国語表現	3						★(3)			
	現代文A	2									
	現代文B	4			3	2	2	3	3	2	
	古典A	2						△(2)			
地理歴史	世界史A	2*			┌						
	世界史B	4*			┌	┌	┌	☆(4)	┌	┌	
	日本史A	2			┌+2				┌+2	┌+2	
	日本史B	4			+3	+3	+3	+4	+3	+3	
	地理A	2			┌	┌	┌	┌	┌	┌	
公民	現代社会	2	2	2							
	倫理	2			2						
	政治・経済	2							☆(2)		
	*発展現代社会	2							☆(2)		
	*発展倫理	2							☆(2) △(2)		
数学	数学I	3*									
	数学II	4									
	数学III	5							3	4	
	数学A	2									
	数学B	2									
	●探究数学I	6	6	6							
	●探究数学II文	6			6						
●探究数学II理	7				7	7					
*応用数学I A II B	4~5						★(5)	4	4		
*応用数学III	4							4	4		
理科	物理基礎	2	2								
	物理	4				┌					
	化学基礎	2				┌-4			┌-3		
	化学	4			┌-2						
	生物基礎	2	2								
	生物	4									
	地学基礎	2									
	●探究化学	9				5			4		
*実践化学基礎	2							★(2)			
*実践生物基礎	2							★(2)			
*実践地学基礎	2										
保健体育	体育	7~8*	3	2	2	2	2	3	3	3	
	保健	2*	1	1	1	1	1				
芸術	音楽I	2*	┌	┌							
	音楽II	2	┌	┌							
	美術I	2*	+2	+2							
	美術II	2	┌	┌					┌△(2)		
	書道I	2*	┌	┌							
	書道II	2									
外国語	発展音楽I	1			┌						
	発展美術I	1			+1						
	発展書道I	1			┌						
外国語	コミュニケーション英語I	3*	4	3							
	コミュニケーション英語II	4			4	3	3				
	コミュニケーション英語III	4						4	3	3	
	英語表現I	2	3	3							
家庭	英語表現II	4			3	3	3				
	*応用英語	3						★(3)			
	*英語活用	2							△(2)		
情報	家庭基礎	2*	2	2							
	情報の科学	2*	1	1							
	理科	3~12		2						┌4	
数	理化	3~12		2						┌5	
	数生	3~12		2						┌3	
	生物	3~12		2						┌	
課題探究	●課題探究基礎	2	2	2							
	●課題探究応用	2			2	2	2				
	●課題探究発展	1						1	1	1	
[3年文系選択科目★](5)+(2)+(2) または(3)+(3)+(3)											
[3年文系選択科目☆△]☆(4) または☆(2)+△(2)											
小計			35	35	35	35	35	22	35	35	
選択教科単位小計			0	0	0	0	0	13	0	0	
教科等総計			35			35			35		
総合的な学習の時間			3~6	(1)	(1)			(1)			
ホーム			1			1			1		
総計			36			36			36		

※数学・芸術・英語における同一科目の履修はⅠ・Ⅱ・Ⅲの順に履修する。
 ※第1学年普通コース理系の地理公民科は、「世界史B」を選択履修する場合は「日本史A」または「地理A」を、「日本史B」か「地理B」を選択履修する場合は「世界史A」を履修する。「世界史B」・「日本史B」・「地理B」は2・3年で継続履修する。
 ※第2学年普通コース文系の地理公民科は、「世界史B」を選択履修する場合は「日本史A」または「地理A」を、「日本史B」か「地理B」を選択履修する場合は「世界史A」を履修する。「世界史B」・「日本史B」・「地理B」は3年で継続履修する。
 ※第3学年普通コース文系で選択科目☆「世界史B」を履修できる者は、「日本史B」か「地理B」を履修しているものに限る。
 ※第3学年普通コース文系で選択科目△「発展倫理」を履修できる者は、選択科目☆「政治・経済」を履修した者に限る。
 ※第2学年普通コース文系の「発展音楽Ⅰ」・「発展美術Ⅰ」・「発展書道Ⅰ」は、それぞれ「音楽Ⅰ」・「美術Ⅰ」・「書道Ⅰ」を履修した者が履修する。
 ※第1学年「情報の科学」2単位のうち1単位は、「課題探究基礎」1単位で代替する。
 ※「総合的な学習の時間」は第1学年では「課題探究基礎」1単位で、第2学年では「課題探究応用」1単位で、第3学年では「課題探究発展」1単位で代替する。

・学校設定科目 鳥取県立米子東高等学校 平成28年度入学教育課程(平成28年10月改定)

教科	科目	学年 標準 単位	1 年		2 年			3 年		
			普通	生命	文系	理系	生命	文系	理系	生命
国語	国語総合	4*	5	5						
	国語表現	3						★(3)		
	現代文A	2								
	現代文B	4			3	2	2	3	3	2
	古典A	2						△(2)		
	古典B	4			4	3	3	4	3	3
	*発展国語総合	3						★(3)		
地理歴史	世界史A	2*			┌				┌	┌
	世界史B	4*			└			☆(3) △(2)	└	└
	日本史A	2			┌	┌2			┌	┌2
	日本史B	4			└4	└	└3	└3	└3	└3
	地理A	2			┌	┌			┌	┌
	地理B	4			└	└			└	└
	*発展世界史	4								
	*発展日本史	4								
	*発展地理	4								
公民	現代社会	2	2	2						
	倫理	2			2					
	政治・経済	2						☆(3)		
	*発展現代社会	2						☆(3)		
	*発展倫理	2						☆(3) △(2)		
数学	数学I	3*	3	3						
	数学II	4	1	1	3	3	3			
	数学III	5				2	2		3	4
	数学A	2	2	2						
	数学B	2			3	2	2			
	*応用数学I A	4								
	*応用数学II B	4								
	*応用数学III	4							└4	4
	*応用数学I A II B	4~5						★(5)	└	
理科	物理基礎	2	2							
	物理	4				└4				
	化学基礎	2			┌	└2		┌	└3	
	化学	4			└2	└3		└★(2)	└4	
	生物基礎	2	2							
	生物	4								
	地学基礎	2			┌			┌		
	*実践生物基礎	2						★(2)		
保健体育	体育	7~8*	3	2	2	2	2	3	3	3
	保健	2*	1	1	1	1	1			
芸術	音楽I	2*	┌	┌	┌	┌				
	音楽II	2	└	└	└	└				
	美術I	2*	└2	└2	└1	└1				
	美術II	2	└	└	└	└			└△(2)	
	書道I	2*	┌	┌	┌	┌				
	書道II	2								
外国語	コミュニケーション英語I	3*	4	3						
	コミュニケーション英語II	4			4	3	3			
	コミュニケーション英語III	4						4	3	3
	英語表現I	2	3	3						
	英語表現II	4			3	3	3	3	3	3
	*応用英語	3						★(3)		
	*英語活用	2						△(2)		
家庭	家庭基礎	2*	2	2						
情報	社会と情報	2*	2	2						
	理数物理	3~12		2			└5			└4
	理数化学	3~12		2			└5			└3
	理数生物	3~12		2			└			└
	[3年文系選択科目★] (5)+(2)+(2) または (3)+(3)+(3) [3年文系選択科目☆] ☆(3)+△(2)									
小計		34	34	34	34	34	20	34	34	
選択教科単位小計		0	0	0	0	0	14	0	0	
教科等総計			34			34		34		
総合的な学習の時間	3~6		1			1		1		
ホームルーム			1			1		1		
総計			36			36		36		

※数学・芸術・英語における同一科目の履修はⅠ・Ⅱ・Ⅲの順に履修する。
 ※第2学年普通コース理系の理科は「化学基礎」履修後「化学」を履修する。
 ※第2学年地歴公民科は、「世界史B」を選択し履修する場合は「日本史A」または「地理A」を、「日本史B」か「地理B」を選択し履修する場合は「世界史A」を履修する。「世界史B」・「日本史B」・「地理B」は3年で継続履修する。
 ※第3学年普通コース文系で選択科目☆「世界史B」を履修できるのは、「日本史B」か「地理B」を2年次から継続履修している者に限る。
 ※第3学年普通コース文系で選択科目△「発展倫理」を履修できるのは、選択科目☆「政治・経済」を履修している者に限る。

* 学校設定科目

鳥取県立米子東高等学校 平成27年度入学者教育課程 (平成28年10月改定)

教科	科目	学年	1 年		2 年			3 年		
			標準 単位	普通	生命	文系	理系	生命	文系	理系
国語	国語総合	4*	6	5						
	国語表現	3						★ (3)		
	現代文A	2								
	現代文B	4			3	2	2	3	3	3
	古典A	2						△ (2)		
	古典B	4			3	3	3	4	3	3
	* 発展現代文	3						★ (3)		
地理歴史	世界史A	2*			┌	┌	┌			
	世界史B	4*			┌	┌	┌	★ (5)	┌	┌
	日本史A	2			┌+2	┌+2	┌+2			
	日本史B	4			┌+4	┌+3	┌+3	┌+3	┌+3	┌+3
	地理A	2			┌	┌	┌			
	地理B	4			┌	┌	┌			
	* 発展世界史	4								
	* 発展日本史	4								
	* 発展地理	4								
公民	現代社会	2	2	2						
	倫理	2			2			☆ (3) △ (2)		
	政治・経済	2						☆ (3)		
	* 発展現代社会	2						☆ (3)		
	* 発展倫理	2								
数学	数学Ⅰ	3*	3	3						
	数学Ⅱ	4	1	1	3	3	3			
	数学Ⅲ	5				2	2		3	4
	数学A	2	2	2						
	数学B	2			3	2	2			
	* 応用数学ⅠA	4								
	* 応用数学ⅡB	4								
	* 応用数学Ⅲ	4								
	* 応用数学ⅠAⅡB	4~5						4┐ 4	4	4
								★ (5)		
理科	物理基礎	2			┌┐ 2┐┐			┌┐		
	物理	4			┌┐ 2┐┐	┌┐ 4		┌┐ 5┐┐		
	化学基礎	2	2		┌┐			┌┐ 5┐┐		
	化学	4			┌┐	┌┐	┌┐ 3	┌┐	┌┐ 4	
	生物基礎	2	2					┌┐		
	生物	4			3┐			4┐		
	地学基礎	2			2					
	* 実践化学基礎	2						┐ ★ (2)		
	* 実践生物基礎	2						┐ ★ (2)		
	* 実践地学基礎	2						┐		
	* 応用物理	2								
	* 応用化学	2								
	* 応用生物	2								
保健体育	体育	7~8*	3	2	2	2	2	3	3	3
	保健	2*	1	1	1	1	1			
芸術	音楽Ⅰ	2*	┌	┌	┌	┌				
	音楽Ⅱ	2	┌	┌	┌	┌				
	美術Ⅰ	2*	┌+2	┌+2	┌+1	┌+1				
	美術Ⅱ	2	┌	┌	┌	┌		┌+△(2)		
	書道Ⅰ	2*	┌	┌	┌	┌				
	書道Ⅱ	2								
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3*	3	3			3			
	コミュニケーション英語Ⅱ	4			5	3	3			
	コミュニケーション英語Ⅲ	4						4	3	3
	英語表現Ⅰ	2	3	3						
	英語表現Ⅱ	4			3	3	3	3	3	3
	* 応用英語	3						★ (3)		
	* 英語活用	2						△ (2)		
家庭	家庭基礎	2*	2	2						
情報	社会と情報	2*	2	2						
数理	理数物理	3~12		2			┐ 4			┐ 4
	理数化学	3~12		2			┐ 4			┐ 4
	理数生物	3~12		2			┐			┐
[3年文系選択科目★] (5)+(2)+(2) または (3)+(3)+(3) [3年文系選択科目☆△] (5) または☆ (3)+△(2)										
小計	選択教科単位小計		34	34	34	34	34	21	34	34
教科等	総計		0	0	0	0	0	13	0	0
			34				34		34	
	総合的な学習の時間	3~6		1			1		1	
	ホームルーム			1			1		1	
	総計		36				36		36	

※数学・芸術・英語における同一科目の履修はⅠ・Ⅱ・Ⅲの順に履修する。
 ※第2学年普通コース理系の理科で「物理」選択者は「物理基礎」履修後「物理」を履修する。
 ※第2学年地歴公民科は、「世界史B」を選択し履修する場合は「日本史A」または「地理A」を、「日本史B」か「地理B」を選択し履修する場合は「世界史A」を履修する。「世界史B」・「日本史B」・「地理B」は3年で継続履修する。
 ※第3学年普通コース文系で選択科目☆「世界史B」を履修できるのは、「日本史B」か「地理B」を2年次から継続履修している者に限る。
 ※第3学年普通コース文系で選択科目△「発展倫理」を履修できるのは、選択科目☆「政治・経済」を履修している者に限る。